

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（ALPS 処理水の海洋放出時の運用等）に係る面談
2. 日時：令和5年1月12日（木）15時30分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
竹内室長、正岡企画調査官、大辻管理官補佐、小西係長、塩唐松係長
澁谷企画調査官、松田室長補佐（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 4名（うちテレビ会議システムによる出席3名）
福島第一原子力発電所 1名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、「多核種除去設備等処理水（ALPS 処理水）の海洋放出に係る放射線環境影響評価報告書（建設段階）」について、これまでの特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合（以下、「1F 技術会合」という。）にて議論した内容及び、昨年11月14日から20日にかけて実施されたIAEAによる東京電力福島第一原子力発電所のALPS 処理水の安全性に関するレビュー（2回目）の内容を踏まえ、以下のとおり改訂する予定である旨説明があった。
 - 1F 技術会合での議論を踏まえ、ソースチームの核種を見直すとともに、その濃度を2023年3月時点に半減期補正すること
 - IAEA レビューでの指摘を反映すること
- 原子力規制庁は、上記の説明内容を確認するとともに、今後の補正申請に向けて準備するよう伝えた。

6. その他

資料：

- ・多核種除去設備等処理水（ALPS 処理水）の海洋放出に係る放射線環境影響評価報告書（建設段階・改訂版）（案）